

## 創刊にあたって

当館では博物館の機能を一般機能と基礎機能に分けている。前者は博物館の「表の顔」の部分で教育普及事業や地域文化振興など利用者に直接かわり、来館者にも見える機能とあってよいであろう。

一方、後者はその名の通り博物館事業を支える基礎的機能で資料の収集保管・整理記録・調査研究など来館者の目には触れにくい「内側の顔」である。

今回の報告書は、開館以来3カ年に渡る地道な調査研究の成果を初めて公表するもので、科学的意義の大きさは勿論、この事業を支援して下さった県民への第1回報告という点でも意義深いものがある。この成果は、より理解し易い「企画展」という形でも公開することが決定しており、「内側の顔」が表にでる貴重な機会となるであろう。

「総合調査研究」は、当館が地域博物館として目標とする“茨城の風土に根ざした自然”を継続的に調査研究するもので、具体的には「活動基本方針・第4項、地域自然の継続的調査研究と大学研究機関等との共同プロジェクトを推進する活動」に基づいて実行されるものである。

従って、この事業には、当館のスタッフ以外に地域の大学、研究機関、そして在野の研究者等多くの研究者に参画していただいている。地域自然の地道な調査研究には、関係研究者の総合力がどうしても必要だからである。熱意に溢れるこれらの研究者諸賢に県民とともに心からのエールをおくりたい。

本報告書が関係各位に広く利用され、また、ここから新しい研究がスタートする事を祈念してやまない。

ミュージアムパーク  
茨城県自然博物館館長  
中川 志郎